

令和3年度

第1学年 美術科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	時 数
1年美術 (日本文教出版)	みやぎの美 (秀学社)	中野渡 寿子	週1～2時間 年45時間

1 教科目標

- (1) 主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好していこうとする意欲と態度を高める。
- (2) 感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現を構想する能力を伸ばす。
- (3) 表現の技能を身に付け、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す能力を伸ばす。
- (4) 美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさなどを感じ取り、味わったり、理解したりする能力を伸ばす。

2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て
	評 価 の 方 法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を工夫することができる。 授業中の活動の様子、発表、作品、クロッキー帳、ワークシート
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性や美しさの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり(アイデア・スケッチ)、美術や美術文化に対する見方や考え方を広げたり(鑑賞)することができる。 授業中の活動の様子、発表、作品、クロッキー帳、ワークシート、ネームカード
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、意欲的に表現及び鑑賞に取り組むことができる。 授業へ取り組む姿勢、作品、クロッキー帳、ワークシート

3 学習計画

【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4	・美術との出会い	1	・発見や感動の大切さに気付く。	
4～6	・見つめると見えてくるもの	9	・身近なものの中に潜む美に気づき、愛着をもって描こうとする気持ちを育成する。 ・用具の使い方の習得など、表現するために必要な基礎的な力を身に付ける。	
6	・美術を味わう	1	・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもつ。	
7～9	・文字っておもしろい	8	・身の周りの文字が情報伝達のためデザインされていることに気づき、興味をもつ。 ・文字のもつ意味と視覚的な形の可能性を探究し、文字をデザインする。	

10～	・色彩の基本・仕組み	5	・色彩のよさや美しさを表現に生かす。 ・デザインの彩色方法を身に付ける。	
-----	------------	---	---	--

【2学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
10～11	・色彩の基本・仕組み			
11～	・広がる模様の世界	10	・目的や条件を基に、身近なものの形や色彩の美しさなどをとらえて構成を考え、着彩などを工夫してデザインする。	
	・美術を味わう	1	・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもつ。	
1～	・じっくり見ると見えてくる	8	・身近にあるものを見つめ、形や色彩、質感などの特徴を捉えたり何かに見立てたりして主題を生み出し、構成や材料、用具を工夫して立体で表現する。	
	・折って、切って、巻いて	2	・目的や条件を基に、紙の加工方法や美しい構成を考え、材料や用具などを工夫してデザインする。	

4 授業への取り組み方，準備物

- ・1時間の授業ごとにねらいや課題をしっかりと確認して授業に臨む。
- ・忘れ物をせず，作品等の提出期限を守る。
- ・聞く，考える，制作する，発表する等の学習のけじめをきちんと付ける。
- ・よりよい作品を目指し，最後まで粘り強く制作する。
- ・いろいろな作品や友達の作品と向き合い，見方を広げ，深める。
- ・自分の意見や考えを言葉でまとめ，表現することができるようにする。
- ・準備物：美術バック（教科書，資料集，鉛筆，絵の具セット）
※その他の準備物はその都度連絡します。（例：色鉛筆，のり）

5 家庭での学習方法

- ・学校で習ったことを家でもう一度やってみましょう。
- ・美術の授業では，発想を膨らませるためにアイデアスケッチを何枚も描いて，試行錯誤することが大切になります。発想を膨らませるために資料収集をしておくといでしょう。
- ・普段から，さまざまなものに触れたり，美術館に足を運んだり，映画を見たりすることで感動し，美しいと思う心をもつことが大切です。

令和3年度 第2学年 美術科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	時 数
2, 3年美術・上下 (日本文教出版)	みやぎの美 (秀学社)	安達 京子	週1時間 年35時間

1 教科目標

- (1) 主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好していこうとする意欲と態度を高める。
- (2) 感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現を構想する能力を伸ばす。
- (3) 表現の技能を身に付け、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表す能力を伸ばす。
- (4) 美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさなどを感じ取り、味わったり、理解したりする能力を伸ばす。

2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て
	評 価 の 方 法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができる。 授業中の活動の様子、発表、作品、クロッキー帳、ワークシート
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性や美しさの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり (アイデア・スケッチ)、美術や美術文化に対する見方や考え方を深めたり (鑑賞) することができる。 授業中の活動の様子、発表、作品、クロッキー帳、ワークシート、ネームカード
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、意欲的に表現及び鑑賞に取り組むことができる。 授業へ取り組む姿勢、作品、クロッキー帳、ワークシート

3 学習計画

【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4～5	・身近なものを立体で表そう	7	・自然や身近にあるものを見つめ、形や色彩、質感などの特徴などから主題を生み出し、構成や材料 (紙粘土)、用具を工夫して立体で表現する。	
6	・美術を味わう①	1	・造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもつ。	
6～10	・ステンド・アート	12	・ステンドグラスの歴史的背景や特徴について知り、興味をもつ。 ・色料の三原色について知り、色料の三原色を混色して様々な色を作り出すことができる。	

【2学期】

月	題 材	時数	学習のねらい	備 考
1 0	・美術を味わう③	1	・造形的なよさや美しさ，作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り，自分の思いや考えをもつ。	
1 0～2	・日本の美意識を捉えて	1 2	・目的や条件などを基に日本の美意識を生かした構成や装飾を考え，材料（木）や用具の生かし方などを工夫して創造的に彫刻で表現する。	
3	・ルネサンスが目指したもの	2	・ルネサンスの表現の特徴や美しさ，時代背景などに関心を持ち，作者の意図と創造的な工夫について興味をもつ。 ・空間表現の方法を身に付ける。 ・身近な空間を技法を用いて描く。	

4 授業への取り組み方，準備物

- ・1時間の授業ごとにねらいや課題をしっかりと確認して授業に臨む。
- ・忘れ物をせず，作品等の提出期限を守る。
- ・聞く，考える，制作する，発表する等の学習のけじめをきちんと付ける。
- ・よりよい作品を目指し，最後まで粘り強く制作する。
- ・いろいろな作品や友達の作品と向き合い，見方を広げ，深める。
- ・自分の意見や考えを言葉でまとめ，表現することができるようにする。
- ・準備物：美術バック（教科書，資料集，鉛筆，絵の具セット）
※その他の準備物はその都度連絡します。（例：色鉛筆，のり）

5 家庭での学習方法

- ・学校で習ったことを家でもう一度やってみましょう。
- ・美術の授業では，発想を膨らませるためにアイデアスケッチを何枚も描いて，試行錯誤することが大切になります。発想を膨らませるために資料収集をしておくといでしょう。
- ・普段から，さまざまなものに触れたり，美術館に足を運んだり，映画を見たりすることで感動し，美しいと思う心をもつことが大切です。

第3学年 美術科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	時数
2, 3年美術・上下 (日本文教出版)	みやぎの美 (秀学社)	安達 京子	週1時間 年35時間

1 教科目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象を深く見つめる力や感性、想像力を高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術との関わりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好していこうとする意欲と態度を高める。

2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て
	評 価 の 方 法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができる。 授業中の活動の様子、発表、作品、クロッキー帳、ワークシート
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性や美しさの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり(アイデア・スケッチ)、美術や美術文化に対する見方や考え方を深めたり(鑑賞)することができる。 授業中の活動の様子、発表、作品、クロッキー帳、ワークシート、ネームカード
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、意欲的に表現及び鑑賞に取り組むことができる。 授業へ取り組む姿勢、作品、クロッキー帳、ワークシート

3 学習計画

【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4	・美術を味わう①	2	・形や色彩、構図や描き方、制作過程から、作者の心情や意図と造形的な表現の工夫を感じ取り、自分の見方や考え方で味わう。	
4～5	・ステンド・アート	6	・ステンドグラスの歴史的背景や特徴について知り、興味をもつ。 ・色料の三原色について知り、色料の三原色を混色して様々な色を作り出すことができる。	
6～10	・私との対話	13	・自分の内面を見つめ、自己の確立を目指す。 ・アクリル絵の具の特徴を生かして描く。 ・お互いの自画像を鑑賞し、自他を尊重する気持ちを養う。	

【2学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
10	・美術を味わう②	1	・造形的なよさや美しさ, 作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り, 自分の思いや考えをもつ。	
10～	2 ・手づくりを味わう喜び	1 2	・素材がもつ特性や美しさを生かし, 用途や機能, 楽しさなどを考え, 材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。	
	2 ・美術を味わう③	1	・造形的なよさや美しさ, 作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り, 自分の思いや考えをもつ。	

4 授業への取り組み方, 準備物

- ・1時間の授業ごとにねらいや課題をしっかりと確認して授業に臨む。
- ・忘れ物をせず, 作品等の提出期限を守る。
- ・聞く, 考える, 制作する, 発表する等の学習のけじめをきちんと付ける。
- ・よりよい作品を目指し, 最後まで粘り強く制作する。
- ・いろいろな作品や友達の作品と向き合い, 見方を広げ, 深める。
- ・自分の意見や考えを言葉でまとめ, 表現することができるようにする。
- ・準備物: 美術バック (教科書, 鉛筆, 絵の具セット)
※その他の準備物はその都度連絡します。(例: 色鉛筆, のり)

5 家庭での学習方法

- ・学校で習ったことを家でもう一度やってみましょう。
- ・美術の授業では, 発想を膨らませるためにアイデアスケッチを何枚も描いて, 試行錯誤することが大切になります。発想を膨らませるために資料収集をしておくといでしょう。
- ・普段から, さまざまなものに触れたり, 美術館に足を運んだり, 映画を見たりすることで感動し, 美しいと思う心をもつことが大切です。